

第2回

都留市ジャパンジュニア グラススキー大会開催

～リニア翔る都留のまちから世界へ～

8月18日(金)から20日(日)の3日間、サンパーク都留グラススキー場において、小・中学生・高校生を対象としたグラススキーの全国大会、『第2回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会』が開催されました。

今年で2回目となるこの大会は、総務省・文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」を受け、都留市が「グラススキーの聖地」と言われ、全国からあこがられるまちとなるよう10年間継続的に実施するものです。

大会初日の18日は、開会式とふれあい交流体験会が開催されました。続く19・20日の両日は、16のクラスに別れ大回転・回転競技が行われました。

全国から集まった80名のトップジュニアグラススキーヤーは優勝目指して豪快な滑りを披露しました。



昨年と比べ技術がかなり向上しています。



ふれあい交流体験会でローソクづくりに挑戦



近くで見るとすごい迫力！



みんな力を出し切りました



240m先のゴールへ



コースを入念にチェック

大会成績

大回転

- 小学生低学年女子
 第1位 渡辺早貴(富士吉田)
 第2位 尾島詩織(都留)
 第3位 渡辺加奈子(富士吉田)
 小学生低学年男子
 第1位 三浦 旭(山形)
 第2位 井上岳秋(東京)
 第3位 我妻和希(山形)
 小学生高学年女子
 第1位 村井七海(東京)
 第2位 仁神麻里(東京)
 第3位 中澤歩里(山形)
 小学生高学年男子
 第1位 高橋義貴(宮城)

- 第2位 志村直樹(富士吉田)
 第3位 鈴木大河(山形)
 中学生女子
 第1位 齋藤久美(山形)
 第2位 金子 愛(山形)
 第3位 伊藤友紀子(山形)
 中学生男子
 第1位 梅津大地(宮城)
 第2位 遠藤 駿(山形)
 第3位 小俣友弘(埼玉)
 高校生女子
 第1位 渡辺未来(富士吉田)
 第2位 嶋崎麻矢(三重)
 第3位 渡部優美(埼玉)
 高校生男子
 第1位 飯塚俊介(埼玉)
 第2位 上野滝人(宮城)

- 第3位 中村龍太郎(富士吉田)
 回転
 小学生低学年女子
 第1位 渡辺早貴(富士吉田)
 第2位 尾島詩織(都留)
 第3位 渡辺加奈子(富士吉田)
 小学生低学年男子
 第1位 三浦 旭(山形)
 第2位 中澤慧士(山形)
 第3位 仁神隆志(東京)
 小学生高学年女子
 第1位 村井七海(東京)
 第2位 仁神麻里(東京)
 第3位 中澤歩里(山形)
 小学生高学年男子
 第1位 志村直樹(富士吉田)
 第2位 田中瑞樹(埼玉)

- 第3位 金子雄輝(東京)
 中学生女子
 第1位 金子 愛(山形)
 第2位 宮下麻里香(富士吉田)
 第3位 池谷文花(富士吉田)
 中学生男子
 第1位 梅津大地(宮城)
 第2位 遠藤 駿(山形)
 第3位 池谷 健(富士吉田)
 高校生女子
 第1位 小佐野由衣(富士吉田)
 第2位 渡部優美(埼玉)
 第3位 渡辺未来(富士吉田)
 高校生男子
 第1位 飯塚俊介(埼玉)
 第2位 新谷大地(徳島)
 第3位 上野滝人(宮城)

裏方さんとして大会に参加

昨年に続き今年もボランティアスタッフの一員として参加させて頂きました。昨年から今後10年間、当市『サンパーク都留』で大会が継続して行われる意義がたくさんある事を実感しました。



東桂地域協働のまちづくり推進会 泉 園枝さん

まず、昨年会った小中高生が一回りたくましく成長していた姿に会えたこと。そこにはお互い

今年も再会できた懐かしさが広がり、選手や応援の父母の皆さんとも自然に会話が弾み、私たちの心を込めた1杯の冷たい飲み物で、心から応援の言葉や励ましの気持ちを伝えることができました。

また、昨年経験をしているためか気持ちに余裕が生まれ、選手や運営スタッフの方々に、競技にますます集中して頂くためのより良い環境づくりに心配りができたのではないかと思います。

深い鹿留の地のさわやかな芝生の斜面を滑り降りる小学校1年生の姿や、たくましく力強い高校生の雄姿を楽しく応援できたことや、「来年も絶対来るね」と約束してくれた汗いっばいの他県の大勢の選手たちに会えた夏の日でした。



サンパーク都留グラススキークラブ 藤江康正さん

全国から約80名の選手を迎えて、この大会が、大成功を収めることができました。大会は好天に恵まれ、3日間とも最高のコンディションで行うことができました。

今年の大会で印象に残ったことは、昨年に比べて参加者が増えたことはもちろんですが、選手全体の技術が格段に向上したということです。

競技運営をするにあたり最も気を遣ったことは、参加選手が「来年もまた出たい」と思うような大会にするということです。そのためには選手が自分の力を出し切った充実感を味わうとともに、コースアウトや転倒することなく無事にゴールにたどり着くということが欠かせません。それでも何人かの選手が転倒というアクシデントに見舞われましたが、どの選手も最後まであきらめずゴールしたことは、非常に素晴らしいことでした。今回、選手の力量が上がったことにより、コースセッティングの幅が広がり、大会が迫力ある見応えがあるものになりました。来年は、今年以上に充実した大会になるよう期待しています。



来年また この地に集まろう！